

大妻同窓会千葉だより

発行人 大妻同窓会千葉
責任者 四宮光枝

発行人 大妻同窓会千葉
印刷 株式会社山下印刷

ご挨拶

一般社団法人 大妻コタカ記念会
会長 井上小百合

木々の緑が目には鮮やかに映る季節となりましたが、大妻同窓会千葉の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。平素は大妻コタカ記念会にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

大妻コタカ記念会は昨年度、昭和四十九年の財団法人化から四十年の節目を迎え、また次の十年に向けての新たな歩みを踏み出しました。大妻女子大学が大きな変貌を遂げている現在、大妻コタカ記念会は大妻学院との連携を更に深めていけるよう努めています。大妻女子大学のその変貌の様子を少しお伝えしたいと思います。

ご存知のように今年三月に、狭山台校の幕が閉じられました。戦後のベビーブーム世代が大学へ進む時代の昭和

四十二年に、新たに文学部が増設されることに伴い狭山台校が開校されました。大妻コタカ先生はこの地への思い入れがことのほか強く、しばしば訪れられ「狭山は空も良く、静かで実に良いところですよ。そして学校は全体が満ち満ちています」と「ふるさと」に書かれています。

昨年十月に記念会が開催した「サヨナラ狭山台校」と題する文化講演会や今年二月の狭山台寮の見学会において、なれた方々からは、懐かしむ声と同時にこの広い校地を惜しむ声が多数聞かれました。開校から約五十年近く、家政学部、文学部の一、二年生（平成十五年からは一年生だけ）がこの地で学び、また寮での生活を通して様々な経験をした数多くの卒業生にとっ

て、狭山の思い出は四季折々の景色とともに青春のイメージとして胸に残っていくことでしょう。跡地の利用について花村理事長は、建学の精神、時代の要請、そして大妻コタカ先生の狭山に対する深い思いなどを踏まえつつ、今後入間市と検討していきたいとおっしゃっています。その狭山台校の閉校により、千代田校では再開発工事が着々と進んでいます。二年後には更に二棟が完成する予定です。

ごあいさつ

大妻同窓会千葉 代表 四宮光枝

「花に風 月に群雲」ということわざがありますが、今年の春は、雨の日や風の日が多く、桜花爛漫をめでることなく過ぎてしまった感じがします。

会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。季節の移ろいは早く、本会の活動も間もなく総会を迎え平成二十六年度のしめくりと平成二十七年年度のスタートをしなければならぬ段階になりました。

この一年の活動につきまして、本紙「千葉だより」の大妻同窓会千葉の歩み」に記載しましたが、皆様にいろいろ

と御協力をいただきました。特に、総会やバス旅行といった大きな行事には、遠方の皆様もおいでになり盛り上げていただきました。大変ありがたく、うれしく思っております。「千葉だより」発行につきましてでも大妻コタカ記念会の井上会長を始め、会員の皆様からの御寄稿をいただき第42号に至りました。役員会は、概ね月一回行われましたが、万障お繰り合わせの上よく出席してくださいました。お陰様で円滑な会の運営ができました。平成二十七年度もどうぞよろしくお願いたします。

大正六年（一九一七年）に大妻良馬・コタカ先生がこの千代田の地に学校用地を取得されて約三十年、校舎建坪は約百八十倍となる計算です。この大きな発展に泉下の両先生もさぞお喜びのことでしょう。千代田校の近くにおいでの際は、ぜひご覧になってください。新本館では「コタカフェ」もご利用できますので。

第41回 大妻同窓会千葉総会
平成二十六年五月十七日、市川市文化会館に於いて開催されました。

来賓として記念会副会長長内藤まり様、元記念会長上田栄子様の御出席と御挨拶をいただきました。経過報告、会計報告をして滞りなく総会を終了し、その後、記念会から前同窓会千葉代表加治文子様への感謝状の贈呈が内藤まり記念会副会長よりありました。講演会「空手の歳時記」女性のための護身術が、お話しを三人位お連れになって「カタ」の見本も見せてくださいました。

先生の奥様は大妻同窓会千葉の同窓の方で、護身術のやり方など御夫婦で指導してくだり大妻参考になりました。手芸は大妻袋といわれる一枚の布で出来るバッグを作り、



大妻同窓会 41 回総会

総会に出席して

武藤 恵子

第四十一回、平成二十六年五月十七日市川市文化会館に於いて総会を開催しました。講演「空手の歳時記」女性のための護身術、講師 四宮裕嗣氏 会員四宮弥生さんの御主人様です。空手の師範で多くの方々を指導されています。

講話の中で、子供の身体能力は十歳で完成される為、体は良く動かす、特に「足腰」を鍛える。「字」を良く、沢山書かせる事は重要だそうです。

戦う時の「かまえ」
①タンデンに力を入れ
②スリ足で間を取る
この2点、外国人には通用しない。日本人には出来な

完成したときは皆さん久しぶりに針を持ったといっております。最後はいつもの通り新田の校歌を斉唱して閉会しました。

四十周年記念文化講演会を、二十六年十一月二十九日（大妻講堂に於いて、東儀秀樹一雅楽のしらべ）が開催され、七百人も集いました。

先ず、宮中儀式の装束で、十人位、それぞれ雅楽を奏でながらの客席より登壇され、古式ゆかしき雅な演出にびっくり致しました。

第一部は、古典雅楽と、舞の世界。箏（しちりき）笙などの管絃器による雅楽の調べで、舞人による舞楽に、目を見張りました。

第二部は、雰囲気が変わり現代音楽での東儀秀樹の世界。曲目は、ハナミズキ、ジュビター、愛さずにはいられない、他オリジナルやカバール曲など演奏し、笙と現代音楽との融合が素晴らしい、心豊かな時間を味わいました。

当日は冷たい雨模様でしたが懐はばつかばか。足取りも軽く家路に着きました。

青葉の集い

浅野 久子

六月八日（日）ホテルオークラ東京「曙の間」で開催されました。今年には法人設立四十周年記念ということで料理にも40という数字が表現され、お土産には紅白のおまんじゅうを頂きました。総会後は古今亭菊之丞さんの落語で大いに楽しませて頂きました。一席目は「親子酒」、二席目は「天狗さばき」でした。どちらも馴染み深い演目で、皆様大喜びでした。その後、会長や来賓の祝辞、乾杯と続き会食となりました。コック長から祝いの挨拶と料理の説明が有りました。おいしい食事を頂きながら、おしゃべりにも花が咲きました。一五一名の出席でした。

大妻コタカ記念会
設立四十周年記念
文化講演に出席して
今泉 和子
大妻コタカ記念会法人設立

秋のバス旅行

—見学と制作体験—

○菅原工藝硝子株式会社

一四〇〇度で水船のように溶けたガラスから様々なカタチが生み出されます。制作体験も出来ます。

○小説家 伊藤左千夫の生家と茶室「唯真閣」

○九十九里町

イワシ漁で栄えた町

○国民宿舎

サンライズ九十九里 宿泊が出来 温泉水プール、テニスコートもある。県産品土産や朝採りの野菜が並ぶ土産売店も充実しています。

◇秋のバス旅行

平成二十六年十月二十五日のバス旅行は地元九十九里方面の見学と菅原工藝硝子工場での制作体験という事で、午前中に硝子工場で制作体験しました。制作には、工場の方がつきつきり一人で一人ひとり指導してくださいました。希望の器、色などを事前に決め、いざ一四〇〇度位になっていく柔らかいガラスの前に立つと、熱いので早く固まってしまうガラスの性質上、真剣なまざしと動作で、顔が赤くなると腕カパーと綿の手袋をかしてくださいました。皆さん今までにない緊張をして制作をしていました。 焼き上がるまでに四時間位かかるので、工場内の食堂で昼食を頂き、その後「野菊の墓」の小説で有名な成東にある伊藤左千夫の生家を訪れ、昔ながらのなつかしい母家や茶室を見学し、学芸員の説明に耳を傾けました。 成東は日本武尊(やまとた

けるのみこと)が東征の折この地で太平洋の荒波を見て鳴涛(なるとう)と名付けたという伝説が地名になったと言われています。

九十九里浜は太東岬から刑部(ぎょうぶ)岬にいたる太平洋に面する一帯の海岸名で、その間およそ五十六km、六町を一里として九十九里としたといわれています。

サンライズ九十九里の二階から眺める太平洋は荒波と雄大な景色でした。 帰りに硝子工場に立ち寄り、世界に一つの自作品に大喜びをして、社長様をはじめ、ご指導して下さった方々にお礼をのべて、作品を大切に袋に入れ、帰途につきました。



おたより

吉澤 幸子

拜復 本日は早々と真に有難いお言葉とお写真をお送り下さりまして有難うございました。私の方こそ何より楽しい一日を過ごさせて頂きました。お礼の言葉も見つかりません。此の度はお返事の葉書が御心配をおかけしたりして、穴があつたら入りたい心境でございます。

同窓会千葉支部総会は独特の楽しい雰囲気があります。

私にとっては、かけがえのない会でございますので、これからも体の続く限り出席したいと思っております。 本日は有難うございました。

清水 博美

本々の緑が目を楽させてくれる今日この頃です。 大妻同窓会千葉の総会の時はいろいろお世話になりました。また写真もお送り下さりまして、ありがとうございます。

あの暖かい余韻に何日か浸っております。

木尾 芳江

前略 いつもながら楽しい時間を有難うございました。空手のお話や演技は、恐ろしいことの多いこの頃、とても有益でした。頂戴した御本をよく読んで、生活の中に役立ててゆきたいと思っております。 有難うございました。 手芸は相変わらずののろま私ですが、やっと仕上がりました。これからお話ししたいです。

今年もはや半ばとなり梅雨も近づいてまいります。どうぞ御自愛下さいませ。どうも末筆ですがお世話になりました。お伝え下さいませ。

木尾 芳江

前略 大変おそくなりましたが、過日は、ありがとうございます。 楽しく満たされた一日を過ごさせていただきました。

大妻同窓会 活動のあゆみ

平成26年

- 5月29日 役員会
- 6月8日 青葉の集い出席
- 6月19日 役員会
- 7月17日 秋のバス旅行について
- 7月17日 役員会
- 8月21日 バスの見学場所決定
- 9月18日 役員会
- 10月5日 案内状発送



菅原硝子工場では、手のおそい私にはとても無理だと思いましたが、助けていただいた、びつくりやらでした。 「野菊の墓」を読んだのは、もう半世紀以上も昔のことですが、左千夫の生家の厚いかやぶきの屋根がとてもなつかしく思えました。 空の色、空気、紅葉、すすきと、充分の秋を味わうことが出来まして本当に感謝しております。 これからもどうぞよろしくお願いたします。

近況のおしらせ

佐野 雅子

お世話になっております。演奏活動など頑張っております。セカンドアルバムも制作予定です。

渡辺 明美

今年度は土曜日にも仕事になってしまいました。

中山 育子

忙しい毎日を送っております。

広瀬恵美子

九十一歳になりました。

齊藤紀久江

昨秋より背柱管狭窄症になり家で外出も出来ません。

仁藤 淳子

いつも御世話様です。体がいう事をきいてくれなく老いを感ずるこの頃です。

宮田 彰子

朗読の発表会の日と重なってしまいました。残念ですが次回を楽しみにしております。

小林 恵子

両親の介護などで忙しい毎日を送っております。又の機会に出席させて頂きます。

田鍋 京子 土曜日は仕事があります。またバス旅行を楽しみにさせていただきます。

加治 文字 御盛会をお祈り致します。

三木 正子 背柱管狭窄症のため歩行困難です。皆様よろしく。

渡辺 由香 毎日忙しいです。

大妻同窓会 千葉総会

日時 5月23日(土曜)

場所 市川市文化会館

講演1 「いびきは健康の危険信号」

2 「マジック」

講師 元日本大学教授 エール大学研究講師 産業大学非常勤講師 専門 耳鼻咽喉科 池松クリニック院長 菊池 基三 先生

新入会員紹介

林 公子

渡辺 由香

市川 朋子

三山 みつ子

古山 則子

計報 誰かで御挨拶をお願いします。 柳原 陽子様 平成26年11月9日

編集後記

寒い寒いと思っているうちに梅や桜が咲き、葉桜の頃となりました。皆様御協力で「千葉だより」42号が出来上がりました。これからも日常のことや心に感じた事などをお寄せくださいませ。お待ちしております。 編集係

平成26年度 大妻同窓会千葉会計報告書

- 10月16日 見学資料用意
- 10月25日 秋のバス旅行 (九十九里方面の見学と菅原工藝硝子会社での制作体験)
- 11月20日 役員会
- 12月4日 役員会
- 平成27年 来年度の総会について
- 1月22日 役員会
- 1月22日 総会の講演・講師について、手芸の相談
- 2月1日 市川市文化会館 申込み(インターネット)
- 2月23日 抽選で総会は5月23日に決定(浅野役員)
- 2月19日 役員会
- 3月19日 役員会
- 3月19日 役員会
- 3月19日 役員会
- 3月19日 役員会
- 3月26日 総会の案内状発送
- 4月9日 役員会
- 4月24日 千葉だより印刷所へ提出
- 5月14日 総会の最終打合せ、準備
- 5月23日 第42回総会